

小美野家所藏文書



- 〔指定年月日〕平成四年二月一日
- 〔種別〕有形文化財（古文書）
- 〔名称〕小美野家所藏文書
- 〔点数〕一〇〇一点
- 〔所有者等〕個人
- 〔所在地等〕今川四丁目

小美野家所蔵文書

小美野家は、江戸時代の当主の中には上井草村（高家今川氏知行所）の名主・年寄役等の村役を勤めたり、長子が戸主になるまで地頭今川氏の家臣として出仕したりした家柄である。

本文書は同家のこうした役職に関連した公文書と同家の私文書・私蔵書籍からなり、寛永一五年（一六三六）の「神田上水源井ノ頭弁財天略記（写）」から平成二年（一九九〇）の「大福収入支払万覚帳」までを含んでいる。年次的には近代以降が大部分を占め近世文書は少ない。内容的特徴を示すのは農業経営、算学書籍、及び戦中生活等に関する文書である。農業経営文書は「農業日記帳」（明治三二～三六年）六点、「茶葉製造日記帳」（明治一八～大正一二年）四〇点、「蚕繭生産日記」（明治二〇～二八年）など四点が特筆され、同家の農業経営の姿が具体的に把握できる。

算学書籍は、「関流算術文書」「量地術」など四一点で、明治初頭に地租改正事業を担った村役人層の実務的知識の水準・内容を知ることができる。

戦中生活等に関する文書には、十五年戦争下の戦中生活を示す「隣組通知」など七三点で、戦時下における庶民生活の実態を知ることができる。

本文書は一〇〇一点と明治から昭和期にかけて質量ともに豊富で杉並区の近現代史・区民生活史を研究する上で貴重な

文書群である。

【文化財所在地】

